

平成24年 2月21日

社団法人 浪速工業会

理事長 岩 井 誠 殿

宮城県石巻工業高等学校

校 長 小 黒 秀 紀

残寒の候 ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

このたびは「東日本大震災」における本校の被災にたいしまして貴重な支援を賜り誠にありがとうございました。

昨年の3月の震災から1年が過ぎようとしておりますが、被災した本校の施設設備は徐々に復旧しておりますが、本格的な復旧工事は4月からになる予定です。震災当日は、地震後におしよせた津波により校舎1階が浸水し、特に実習棟は最大1メートルの浸水がありました。実習機械等に壊滅的な被害があり、電気、水道等のライフラインも停止し学校再開にむけて大きな障害となりました。また生徒においても津波により家屋が全壊した家庭が多数あり、教科書や学用品等の流失が多くみられました。その後、懸命に復旧作業を行った結果、4月21日に入学式、始業式を行うことができ、現在は充分とは言い切れませんが授業や部活動ができるようになっていきます。

浪速工業会様からの支援はサッカー部のゴールと剣道部の胴に使わせていただき、職員、生徒一同感謝の気持ちでいっぱいです。これからも皆様方からの誠意を忘れず学校一丸となって復旧にむけて努力する所存ですので今後ともよろしくお願い申し上げます

最後になりましたが貴会のますますのご発展を祈念し、御礼の挨拶といたします。

起案理由

浪速工業会事務局様

このたびは 東日本大震災による本校への支援に
つぎましては、大変ありがとうございました。

連絡をいただいたから 早々に サッカーゴールと剣道の
防具を購置させていただきまして、学校の復旧工事
や 復旧資料の作成にお任せ、今日まで送付
できて喜んでいただき、お詫び申し上げます。

本校も本格的な復旧工事は、4月頃からの予定で
予定しており 通常の状態に早く復旧することを
望んでおります。

簡担でございまして、御礼とお詫びの挨拶と
させていただきます。

尚、何かございましたらご連絡願います。

浪速工業高校

事務部長 小野寺 弘